

KU-ORCASによるみんなで翻刻との連携

菊池 信彦

関西大学アジア・オープン・リサーチセンター特任准教授

みんなで翻刻サミット, 2021年2月15日(月)

KU-ORCASとは

KU-ORCAS=関西大学アジア・
オープン・リサーチセンター (Kansai
University Open Research
Center for Asian Studies)

パブリックヒューマニティーズやデジ
タルヒューマニティーズを通じた、関
大の東アジア文化研究のブランディ
ング事業

“ 東アジア研究といえば関大 ”
関大といえば東アジア研究



①研究リソース
のオープン化
⇒IIIF対応デジ
タルアーカイブ

②研究グループ
のオープン化
⇒クラウドソー
シングでの翻刻

③研究ノウハウ
のオープン化

④研究成果の
オープン化



関西大学東アジアデジタルアーカイブ >



大坂(阪)画壇デジタルアーカイブ >



泊園文庫デジタルアーカイブ >



泊園印章デジタルアーカイブ >



新規公開コンテンツ >



古文書・古記録デジタルアーカイブ >



アジアの映画関連資料アーカイブ >



関西大学デジタルアーカイブ ANNEX >



鱒澤文庫 >



長谷川真信(初代、二代、三代)コレクション >



近代漢語文献データベース >

現在 **5,500点** を
オープンデータとして公開

関西大学デジタルアーカイブ <https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/>

みんなで翻刻への提供資料



アジアの映画関連資料アーカイブ 64点



江戸時代の中国語関連資料 16点

現代日本語と近世期の漢籍や中国語という2つのタイプ

- ① 翻刻の成果としてのテキストデータを研究に使いたい
⇒ 学術的利用に耐える品質が得られること
- ② 史料を通じて歴史に親しんでほしい
⇒ 史料から歴史へつなぐものであること
- ③ 資料を通じて資料提供機関やDAの取り組みを「応援」してほしい
⇒ 資料提供側のインセンティブに

連携させていただいているだけで御の字ですがあえて言えば、

- ① 史料から「歴史」へつなぐための仕掛け・活動・役割（「教育的」利用／趣味的な歴史研究への接続）
- ② 学術的利用に耐える品質のテキストデータが受け取れるようなもの
（Transkribusの日本史料版のような）
- ③ 日本史料としての漢籍も含むプラットフォームとなること